三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ　健康経営戦略マップ

作成年：2026年4月

健康投資

リテラシーの向上
- リテラシー向上施策の実施

フィジカルの健康の維持増進 生活習慣の改善
- 定期健康診断の実施、各種健診費用の補助
- 二次検査の受診勧奨
- 保健指導の勧奨
- 生活習慣改善施策
- 女性特有の健康課題への取り組み

メンタルの健康の維持増進
- 研修の実施
- ストレスチェックの実施とフォロー
- 相談窓口の設置

職場環境・制度の整備
- 復職・再発予防の支援
- 長時間労働の抑制
- 治療と仕事の両立支援
- 喫煙・受動喫煙対策

健康投資の効果

健康投資施策の取り組み状況に関する指標
- 研修・イベントの受講・参加率
- 定期健診受診率
- 二次検診受診率（再検査・精密検査）
- 保健指導実施率
- メンタルヘルス研修
- 受講率
- ストレスチェック受検率
- 各種制度の利用率

社員等の意識変容・行動変容に関する指標

生活習慣に関する指標の改善
- 喫煙者率
- 運動習慣保有率
- 睡眠時間、睡眠時休養感

職場環境に関する指標の改善
- 平均残業時間
- 長時間労働者数・率
- 平均有給休暇取得日数

健康関連の最終的な目標指標

プレゼンティーズム
体調不良によるパフォーマンスの低下の抑制・改善

アブセンティーズム
心身の疾病による長期休職の抑制・減少

エンゲージメント
働く意欲・組織への貢献意識の維持・向上

健康経営の浸透状況
- Eラーニングの受講率

方針実現のための体制・環境
- CHROを推進責任者とした推進体制の設置（産業医・保険者を含む）

サポート、組織的支援（POS）、WSC等
- ストレスチェック(職場支援)
- パルスサーベイ
- グループ意識調査

健康風土の醸成

目標年：2026年

KGI
- プレゼンティーズム（15%以下）
- アブセンティーズム（1%以下）
- エンゲージメント（前中計最終年度比改善）

経営方針

パーパス「世界が進むチカラになる。」のもと、お客さまや社会の課題解決と持続的な発展に貢献することで、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指す

健康経営の推進方針
- 社員一人ひとりがウェルビーイングを実感し、心身ともに健康で活き活きと働ける状態を実現する
- 社員とその家族の健やかで心豊かな人生の実現に貢献する

健康経営の目標
- 社員一人ひとりとチームのパフォーマンス最大化
- 社員の心身の健康の維持増進
- 活き活きと、やりがいとウィルビーイングを実感できる職場環境づくり
- 社員とその家族が健やかで心豊かな人生を送ることができる環境づくり

社員の健康課題

フィジカル
- 健診有所見者対応
- 生活習慣改善
- 女性の健康支援
- シニア社員増加

メンタル
- メンタル不調の予防
- 高ストレス者への対応

ヘルスリテラシー
- 適切な健康行動に向けたリテラシーの不足

MUFG